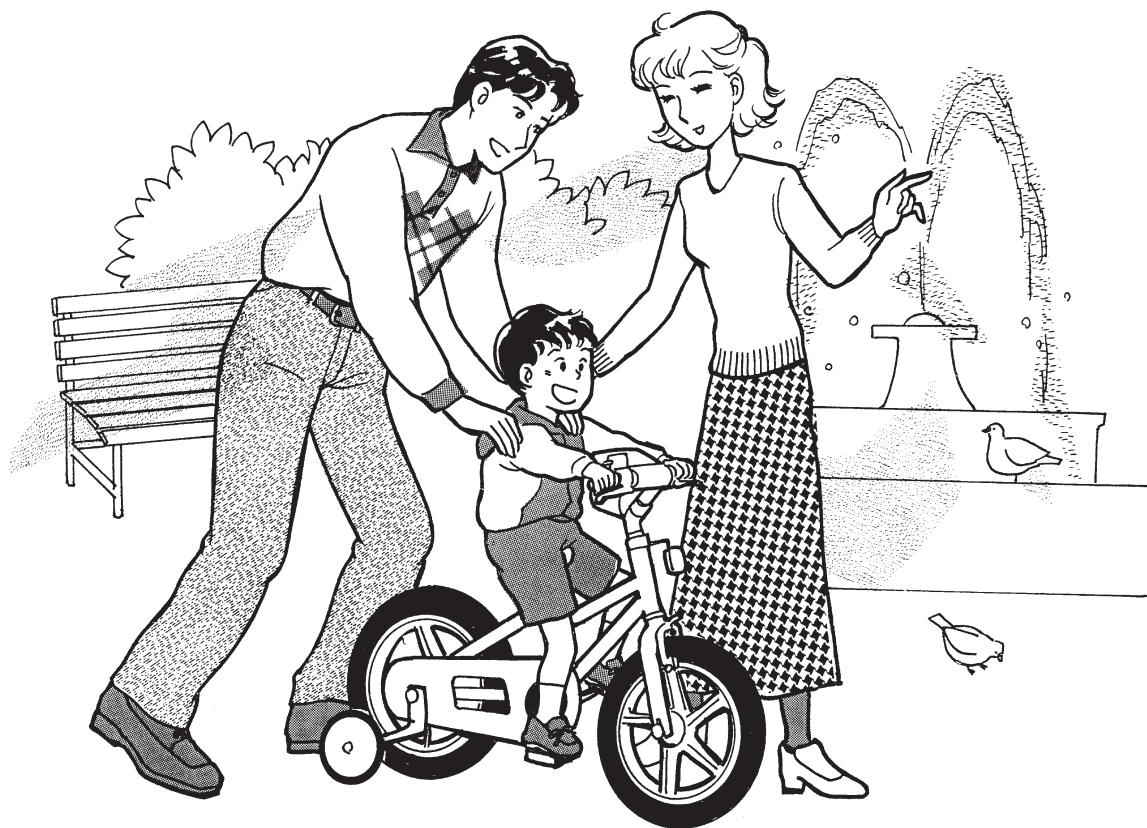


幼児用乗りものを安全で快適にご使用いただくために！

取扱説明書 幼児用乗りものの編《品質保証書付》

このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、
ありがとうございます。



保護者の方へ

！ 警 告

- この製品は幼児用乗りものです。自転車ではありません。
- お子様は幼児用二輪車を使う前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と、危険なこと・してはいけないことをよく指導してください。
- 保護者の方が必ずそばについて安全を確保してください。
- 公道や危険な場所では使用しないでください。
- 走行速度は「歩く程度」以下を守ってください。

本書および品質保証書について

- 品質保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、お店からお受け取りください。
- 本書を読み終えた後は、大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、製品がこわれるなどのおそれがあります。

表示の意味



この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

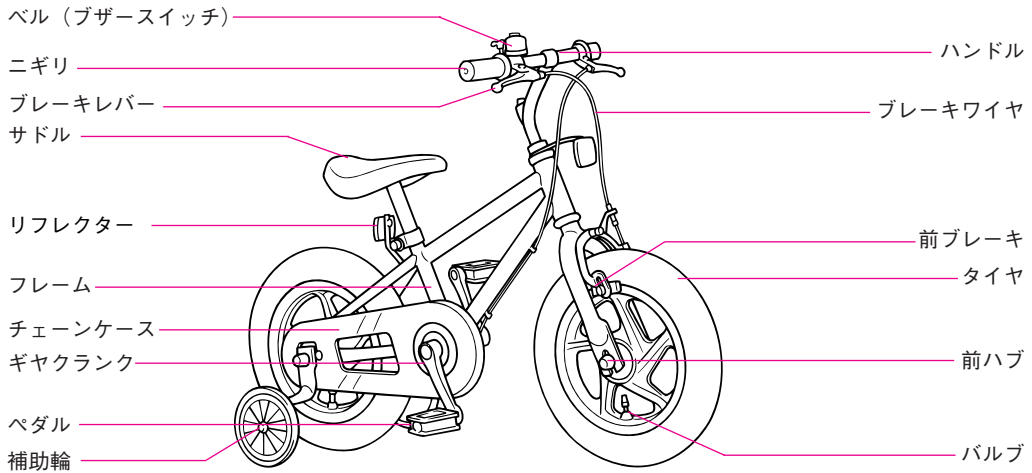


- 安全快適にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解してからお使いください。
- まちがった取り扱いや調整は事故につながる危険があります。警告、禁止、注意、強制事項を必ず守ってください。
- 乗るまえの「日常点検」と、お店にお願いする「初回点検・定期点検」を必ず実施してください。
- 故障、修理などで部品の交換が必要な場合は、必ず当社純正部品を使用してください。
- この製品を他人に譲るときには、この「取扱説明書」をいっしょにお渡しください。
- 取り扱い方がわからないときは、お買い求めのお店にご相談ください。

【もくじ】

| | | | |
|-----------------|------|---------------------|-------|
| ■ 警告表示 | 1 | ■ 各部の調整方法 | 11～14 |
| ■ 各部のなまえ | 2 | ■ お手入れと保管 | 15 |
| ■ 正しい使用条件 | 2 | ■ 安全のための調整・点検 | 16 |
| ■ 安全上のご注意 | 3～7 | ■ 品質保証書 | 17 |
| ■ 点検方法 | 8～11 | | |

各部のなまえ



正しい使用条件

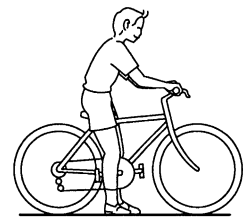
【走行速度】

4km/h (歩く程度)
まで

⚠ **警告：** スピードのだしすぎは、事故・転倒のおそれがあります。スピードはいつもひかえめにしてください。

【お使いになれる目安】

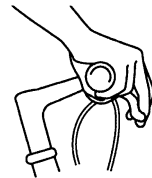
- 年齢 2才半～3才半
- 身長 85cm～105cm
- サドルに腰をおろしペダルを下にさげて足を乗せたとき、ひざに余裕があるように調整できること。
お子様がサドルに腰をおろしたとき、両足がべったり地面につくこと。



両足が地面にとどく

⚠ **警告：** 足が地面に届かない幼児には乗せない

- ブレーキレバーを余裕をもってにぎることができること。



【乗せられる荷物の大きさと重さ】

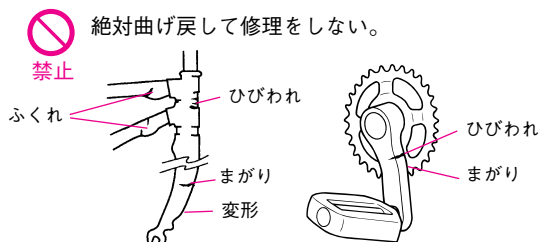
⊘ **積載禁止**

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、財産の損害と製品がこわれることを未然に防止するために、必ずお守りください。

⚠ 警告 (危険です、乗る前に必ず点検してください！)
異常を発見したら使用しないでください！

フレーム・前ホークやクランク、ペダルなどの部品に変形やヒビ割れはないか



走行中にこわれて事故・けがをおこすおそれがあり危険です。

前輪・後輪の固定は十分か

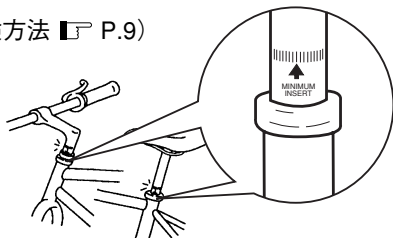
(点検方法 ■ P.10)



走行中に外れて事故・けがをおこすおそれがあり危険です。

ハンドルやサドルのポストは限界標識がかけられるまで差し込まれているか

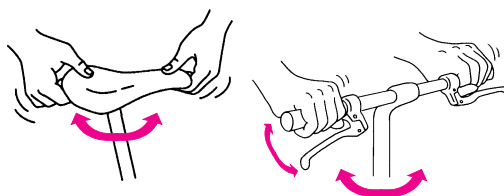
(点検方法 ■ P.9)



ハンドルや、サドル（ポスト）の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあります。

ハンドル・サドルの固定は十分か

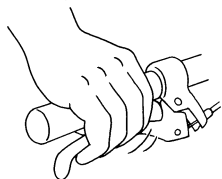
(点検方法 ■ P.9)



操縦できなくなり、事故・けがのおそれがあります。

ブレーキはよくきくか

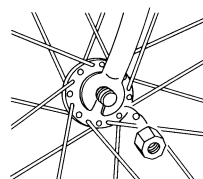
(点検方法 ■ P.9)



止まれずに衝突して事故・けがのおそれがあります。

ネジがゆるんでいるところはないか

(点検方法 ■ P.11)



ゆるんでいるところがこわれて事故・けがのおそれがあります。

タイヤの空気圧は十分か

(点検方法 ■ P.10, 14)

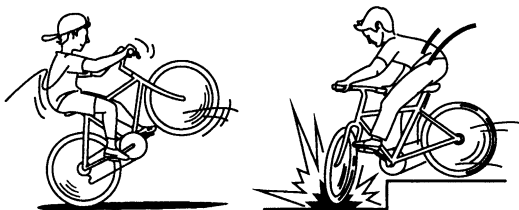
パンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。

⚠ 警告 (危険です、危ない乗り方をしないでください!)

乱暴な乗り方はしない

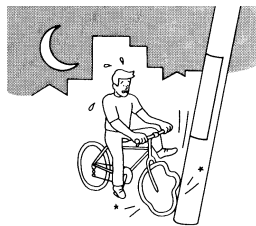


階段や縁石の乗り降り
アクロバット走行など



こわれて事故・けがのおそれがあります。

夜間や暗いところでは乗らない



事故・けがのおそれがあります。



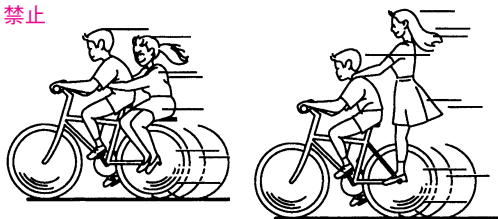
必ず降りて押してください。

強制

2人乗りをしない (道路交通法で禁止)

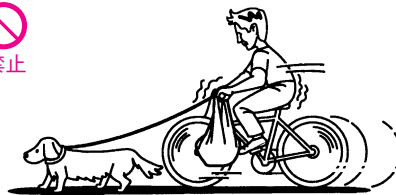


ハブステップの禁止



操縦が不安定で転倒したり、こわれて事故・けがのおそれがあります。

ハンドルに物をさげたり犬を引いて乗らない



車輪に物が巻き込まれたり、バランスをくずして転倒し、事故・けがのおそれがあります。

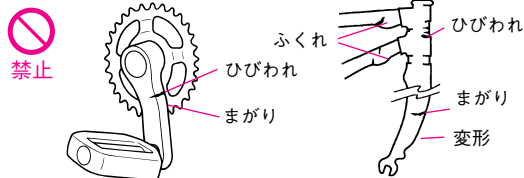
片手運転、手ばなし運転をしない



危ないときによけたり止まることができず、事故・けがのおそれがあります。必ず両手でハンドルをにぎってください。

⚠ 警告（危険です、必ずお守りください！）

パンクや故障など異常があるときは乗らない



事故・けがのおそれがあります。
異常を発見したら使用せずに、すぐお店にご相談ください。

改造・分解・突出物（ハブステップ等）の装着および指定箇所以外の調整はしない



正しく動かずに事故を起こしたり歩行者に危害をおよぼすおそれがあります。

初回点検・定期点検は必ず実施する

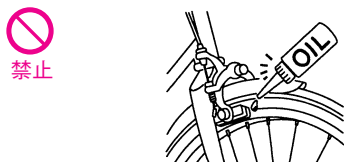


長く使っているとネジがゆるんだり調整がズレたりしてきます。必ず実施してください。

! ブレーキワイヤーは2年に1回交換
強制

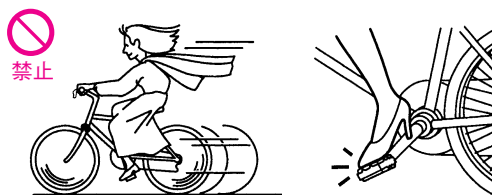
ブレーキに油をつけない

（注油箇所 ■ P.15）



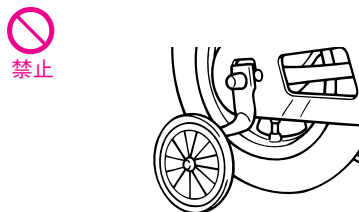
ブレーキに油がつくとブレーキがきかなくなり、事故・けがのおそれがあります。

引っかかりやすい服装やすべりやすい靴かかとの高い靴などをはいて乗らない



転倒するおそれがあります。ズボンのすそはセイフティバンドやクリップなどでとめて乗ってください。

補助車輪をはずして乗せない



安定性がなくなり事故・ケガのおそれがあります。

安全な場所で使用する



- 公道では使用しない。
- 空き地や公園など安全な場所で使用し危険な場所では使用しない（傾斜、凸凹、段差のある場所・障害物のある場所など）

走行するとき

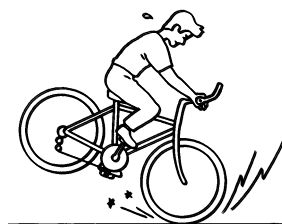


- タイヤに十分空気を入れてから乗る。
(空気圧が低いとはやくタイヤが減り、パンクもしやすくペダリングが重くなります)
(適正な空気圧は14ページをご覧ください)

ブレーキをかけるとき



- いつでもブレーキレバーを握れるようにして乗る。
- ブレーキは先に後ブレーキをかけてから前後ともブレーキをかける。
(片方だけかけるとスリップして危険です)
- 急ブレーキをかけないでいいように、いつも前方に注意してスピードをひかえめにする。
- 雨天時はブレーキがききにくなるので、ゆっくり走行する。



曲がるときは



- 急にハンドルを切らない。
- 曲がるときはスピードを落とす。



衝突や転倒したときは



- 必ず点検する。
- 異常を発見したら使用せずにお店に相談する。



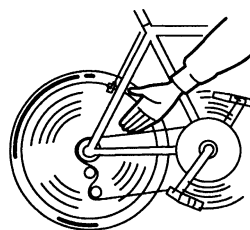
⚠ 注意 (安全のために必ずお守りください！)

回転部分には

- 手や足を入れない。子供がそばにいるときは、特に注意する。
(はさまって大ケガをします)
- スポークの間に物を入れたりはさんだりしない。
(車輪にはさまって転倒してしまいます)



禁止



風・雨・雪がひどいときや視界が悪いとき

- ムリに乗らない。



強制

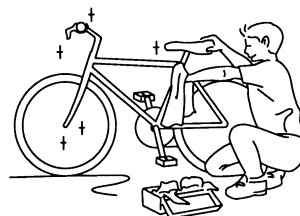


サビを防止し、長持ちさせるために

- 定期的に手入れをする。
(手入れの仕方は15ページをご覧ください)



強制



走行目的以外の使用

- 踏み台など走行目的以外に使わない。
(転倒してけがをするおそれがあります)



禁止



点検方法



強制

乗るまえの「日常点検」とお店にお願いする「初回点検」「定期点検」を必ず実施してください。

【初回点検】

- 購入後、2ヶ月以内に点検を受けてください。

初期の内は特にネジがゆるみやすいので、必ずお店で点検を受けてください。

【定期点検】

- 購入後6ヶ月、12ヶ月以内、その後は1年ごとに点検を受けてください。

安全に長くお使いいただくために必ずお店で定期点検を受けてください。

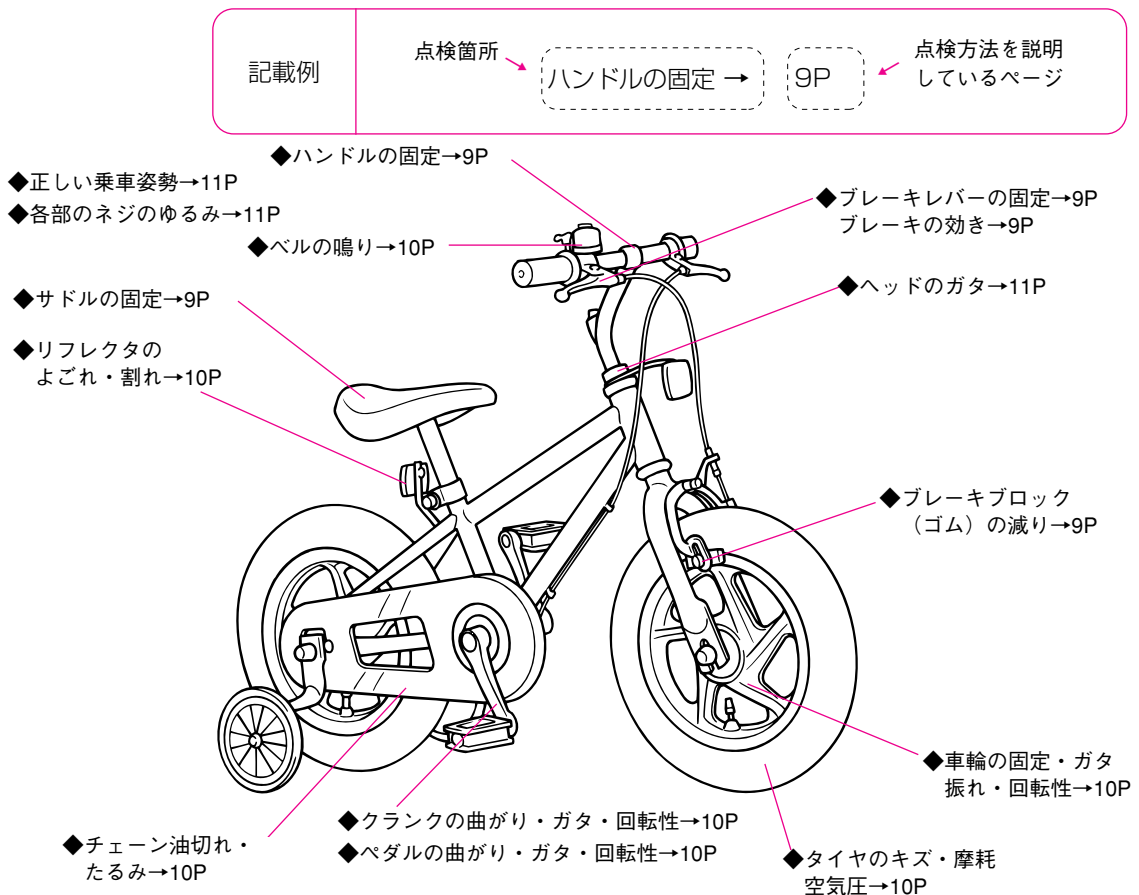
長い間使用せず、再び使用するときも点検をお受けください。

【乗るまえの点検】

- 乗るまえに必ず点検し、安全を確かめてから乗ってください。

変形や破損している部分は必ず新品と交換してください。

各部の点検



【点検方法】

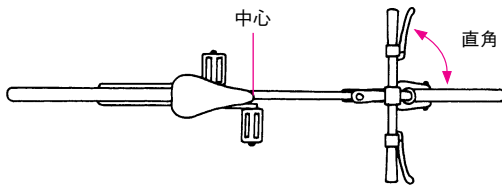
ハンドル・サドル

● ハンドル・サドルの組付



挿入不足で
使用しない。

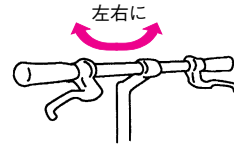
禁止



- ※ 限界標識がかけれるまで差し込まれていること。
- ※ ハンドルが前輪に直角に固定されていること。
- ※ サドルがフレーム中心と合っていること。
- ※ サドルにすわってブレーキやハンドルをムリなく操作できること。(調整方法 ■ P.11～12)

● ハンドルの固定

(前輪を足で固定してハンドルを動かしてみる)



※ 力を入れても回らないこと

● サドルの固定

(サドルの前後を持って動かしてみる)



※ 力を入れても回らないこと

ブレーキ



ブレーキワイヤは消耗品です。異常がなくても2年に1度は交換してください。

強制

● ブレーキのきき具合

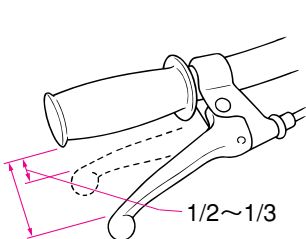
〔レバーを引いてきき
具合をみる〕

● レバーの固定

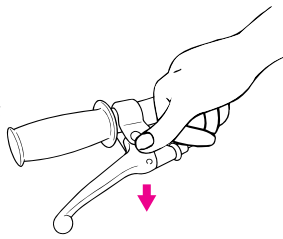
(指で押してみる)

● ワイヤのサビ・切れ

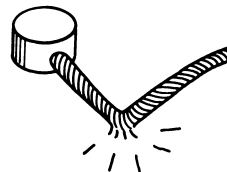
● ブレーキブロック の減り



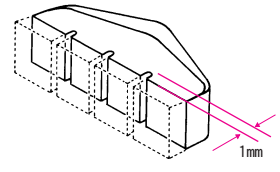
- ※ すきまが1/2～1/3になるまでにブレーキがよくきくこと
- ※ レバーの作動が重くないこと



※ ズレ動かないこと



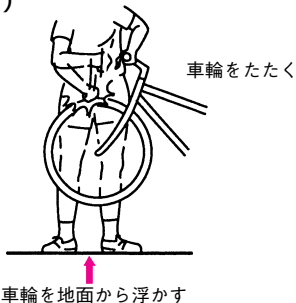
※ サビ・切れ・ほつれがないこと



※ 溝の残りが1mm以上あること

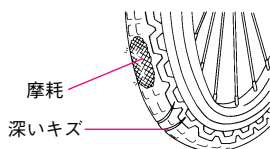
車 輪

- 固定（持ち上げて車輪を上から強くたたいてみる。）



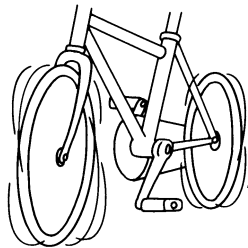
※ 車輪がズレたりガタついたりしないこと。

- タイヤのキズ・摩耗



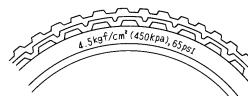
※ コードが見える深いキズがないこと。
 ※ 接地面の模様が十分残っていること。

- 振れ・ガタ・回転性（持ち上げて回してみる。）



※ スムーズに回転し大きな振れやガタがないこと。

- 空気圧

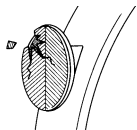


※ 十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。
 （図の数値は表示の例）
 （空気補充のしかた ■ P.14）

ベル・ブザー・ランプ・リフレクタ

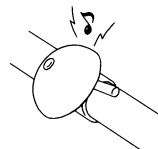
- リフレクタ

※ 必ず装着されており、後からよく見えること
 ※ レンズのよごれワレがないこと。



- ベル・ブザー

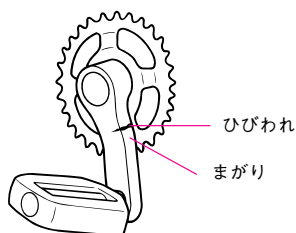
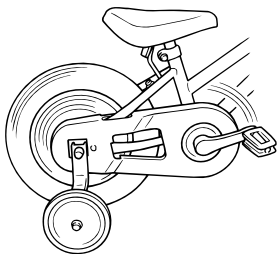
※ ベル・ブザーが必ず装着されており、よく鳴ること。



ギヤクランク・ペダル

- ギヤクランク・ペダル

※ クランク・ペダルにガタがなくスムーズに回転すること。
 ※ ギヤクランクに変形やひび割れがないこと。



- チェーン

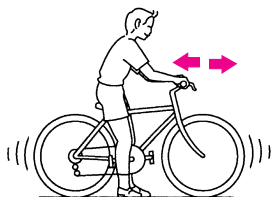
※ 油切れがなく、指で動かしてみたときなめらかにうごくこと。
 ※ チェーンが大きくなるんでいないこと。

各部のネジのゆるみ

● ヘッド部のゆるみ、ガタ

左右のブレーキレバーをにぎり、前後にゆする。

※ ガタがあればヘッドがゆるんでいたり部品がこわれています。



● 各部のネジのゆるみ

(10cmほど持ち上げて軽く落とす)

※ 変な音がしないこと

変な音がしたらネジがゆるんでいます。



各部の調整方法

安全を確保するために、各部の調整は注意点を守って確実に行ってください。

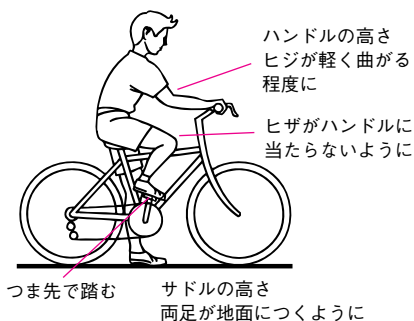
これを怠りますと思わぬ事故につながります。ご不明な点がございましたら、お店にご相談ください。

⚠ 注意 (安全のために必ずお守りください！)

正しい乗車姿勢

サドルに腰をおろし両手をにぎりにおいた状態で、

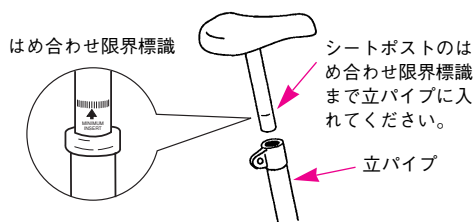
- ① 両足が確実に地面につくこと。
- ② 上半身が少し前に傾き、ヒジが軽く曲がること。
- ③ ペダルをこいだときヒザがハンドルに当たらず、安全にハンドルの操縦操作ができること。
- ④ 円滑にペダルをこぐことができ、ブレーキ、ベルなどが安全に操作できること。



サドルの調整のしかた

サドルの高さ

⚠ 警告：最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。限界標識が見えていないと、サドル（シートポスト）の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあります。



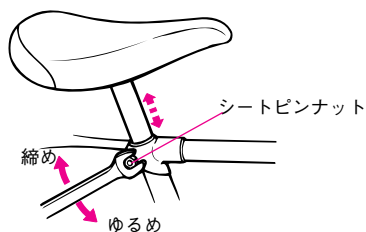
《調整方法》

ボルトナット式シートピンの場合

- ① 右側のシートピンナットをゆるめるとサドルを上下に調整できます。
- ② 固定するときは、右側のシートピンナットを締め付けて固定してください。

⚠ **注意：**シートピンは左側を回すとシートラグが破損します。絶対に回さないでください。

ボルトナット式シートピン

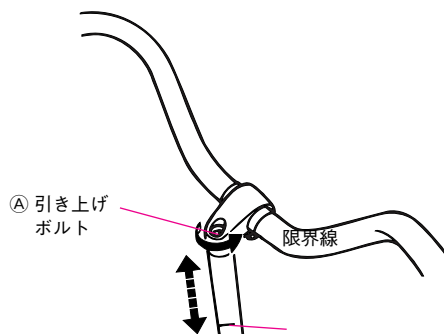


ハンドルの調整のしかた

⚠ **警告：**最も高くした場合でも、ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。限界標識が見えているとハンドルステムの折れや抜けにより事故・けがのおそれがあり危険です。

《調整方法》

- ① 引き上げボルト④をゆるめるとハンドルを上下に調整できます。
- ② 固定するときはゆるめた引き上げボルト④⑤をスパナで締め付けて固定してください。



◆ 引き上げボルト④をゆるめてもハンドルポストが動かないときは、引き上げボルトの頭を木片などで軽くたたいてください。

ブレーキ調整のしかた

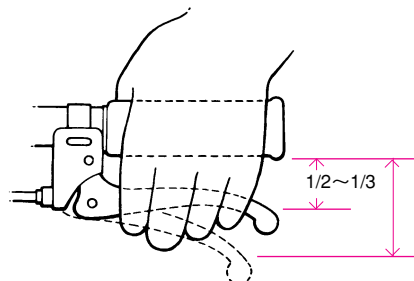
- ◆ 長い間使っているとブレーキレバーのあそびが大きくなり、ききが悪くなってきます。常にブレーキがきくように調整してください。

⚠ **警告：** ブレーキ各部はこの説明書に記載されているところ以外は、絶対に自分で調整しないでください。

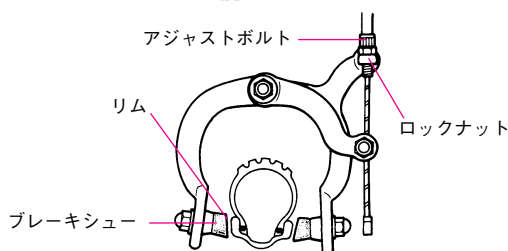
《調整方法》

前・後ブレーキ共にアジャストボルトをゆるめるとブレーキレバーのあそびが少なくなります。

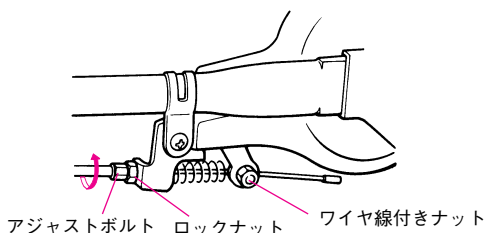
ブレーキレバーを引いてすきまが $1/2 \sim 1/3$ になるまでにブレーキがよくきくように調整してください。アジャストボルトにロックナットが装着されているものは、一度ロックナットをゆるめてからアジャストボルトを調整してください。調整後はロックナットを締め付けてください。



前ブレーキ



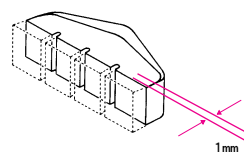
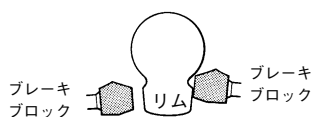
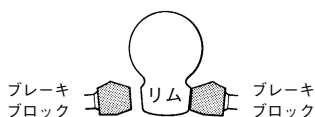
後ブレーキ



❗ つぎの場合にはお店にご相談ください。

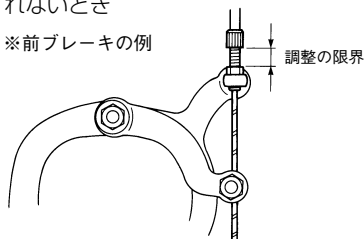
強制

- ◆ ブレーキブロックがリムに当たったままになっているとき
- ◆ ブレーキをかけた状態でブレーキブロックがリムからズレているとき
- ◆ ブレーキブロックが摩耗して、溝の残りが1mmになったとき

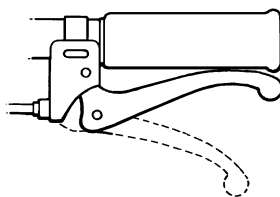


- ◆ アジャストボルトで調整しきれないとき

※前ブレーキの例



- ◆ ブレーキの効きが悪くなったとき



タイヤへの空気補充のしかた

- ◆ お買い上げいただきました幼児用乗りもののバルブの種類は英式です。英式バルブに合ったポンプで空気を補充してください。ただし、幼児用乗りもののタイヤに空気を補充するときには、補助部品を用いて次の順序で空気を入れてください。

1. 英式バルブからキャップを外します。(図1)
2. アダプタを英式バルブに取り付けます。
アダプタの①の部分を時計方向に回しアダプタを固定します。(図1)
3. アダプタにポンプの口金を取り付けます。(図2)
アダプタにポンプの口金(図2)を挟み付けます。アダプタと口金がズレていないことを確認してください。
4. 空気を入れます。
空気入れが終わったら、アダプタからポンプの口金を外し、アダプタの①の部分を反時計方向に回しアダプタを外します。
最後に、英式バルブにキャップを取り付けます。

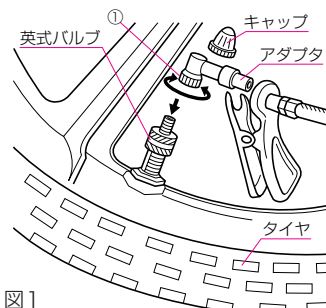
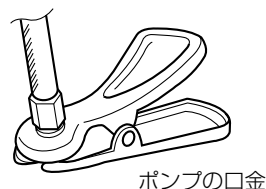


図1

- △ 注意：
- ポンプの口金が図2の形状であることを確認し使用してください。
 - 補助部品は空気を入れるときに必要です。なくさないように大切に保管してください。

図2



ポンプの口金

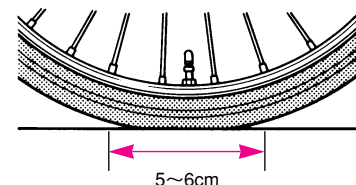
空気圧の測定

- △ 注意：空気圧が少ないと、タイヤの接地面積が小さくなって走行抵抗が増し、ペダリングが重くなります。また、タイヤの摩耗やパンク、リムの変形の原因になります。
必ずタイヤに表示している空気圧の範囲内で使用してください。

- ◆ 英式バルブ用タイヤ空気圧ゲージはありませんので、次項の乗車しておこなう簡易測定をしてください。

《空気圧の簡易測定のしかた》

乗車した状態での接地面の長さで空気圧を判定してください。



5~6cm

接地面の長さが
5~6cmくらいが適当です

<タイヤ空気圧表示例と換算値>

1KPa=0.01kgf/cm²=0.145PSI

| KPa | kgf/cm ² | PSI |
|-----|---------------------|------|
| 200 | 2.0 | 30 |
| 300 | 3.0 | 43.5 |
| 450 | 4.5 | 65 |
| 690 | 6.9 | 100 |

お手入れと保管

【お手入れのしかた】

乾いた布やブラシでホコリや汚れをよく落としてからお手入れしてください。汚れがひどいときは水洗いしてよく乾かしてください。

警告

注油禁止箇所



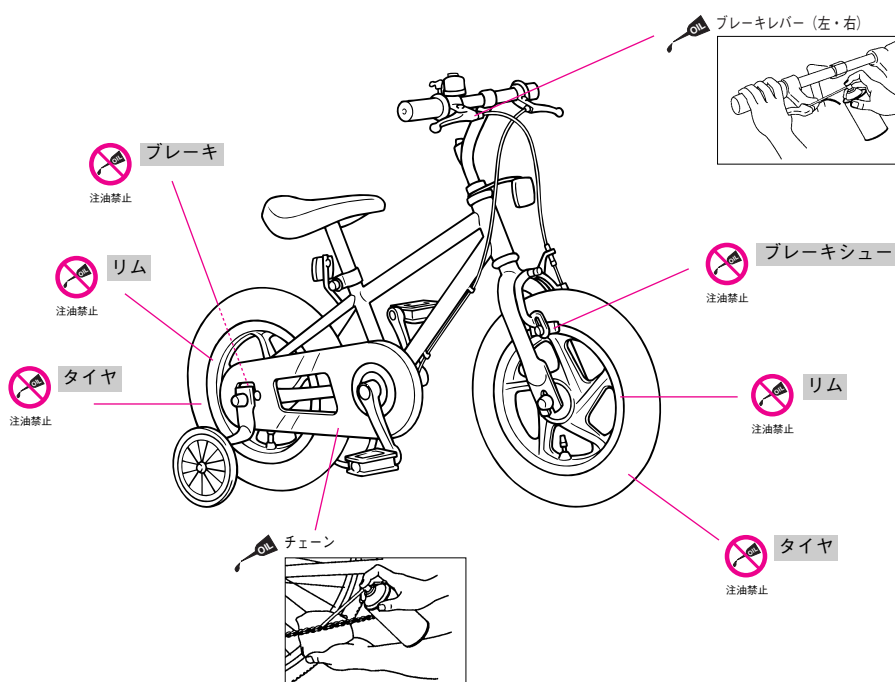
注油禁止

この記号の箇所には絶対に「油」や「グリス」をつけないでください。

注油箇所



この記号の箇所に注油してください。(1～2ヶ月に1回程度)



- 塗装部は、「ワックス」でみがいでください。

⚠ **注意：** 絶対にタイヤにワックスをつけないでください。タイヤにひび割れが生じます。

- メッキ・ステンレス部は、「サビ止め油」や「機械油」を少しふくませた布でふいてください。
- 海岸、湿気の多いところ、工場地帯、便所や浄化槽の近くなどサビやすいところにおくときは、お手入れの回数を多くしてください。

【保管するときは】

- 盗難防止のため屋内に保管してください。
- 雨のかからない乾燥した場所に保管してください。屋外に保管される場合にはサイクルカバーやビニールシートを使用してください。

安全確保のために、必ず1年毎お買い上げ店で点検・調整を受けてください。

| V：異常なし A：調整・注油 △：修理 ×：取替 C：清掃 その他 | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 点検項目と内容 | | 初回 2ヶ月 | 2回目 6ヶ月 | 3回目 1年 | 4回目 2年 | 5回目 3年 | 6回目 4年 | 7回目 5年 | |
| フレーム、前ホーク | ●曲がり、ヒビ割れ ●ヘッド・ハンガの回転・ガタ | | | | | | | | |
| | ●ハンドルポストの挿入深さ ●取付・固定 | | | | | | | | |
| ハンドル | ●ポストの挿入深さ ●固定 | | | | | | | | |
| サドル | ●レバーの引き代、ブレーキの効き ●各部の固定 | | | | | | | | |
| ブレーキ | ●ブレーキプロック・ライニングの摩耗 ●ワイヤの錆・ほつれ | | | | | | | | |
| ギヤクランク | ●クランク・ギヤ板の変形・ヒビ割れ ●ナットの締付・固定 | | | | | | | | |
| ペダル | ●回転の具合・ガタ ●軸の曲がり ●締付・固定 | | | | | | | | |
| チェーン | ●チェーンの張り・たるみ ●油切れ ●チェーンの外れ | | | | | | | | |
| ハブ 輪車 | ●ナットの締付・固定 ●玉押しのガタ | | | | | | | | |
| | ●クイックレバーの動き・締まり具合 | | | | | | | | |
| | ●空気圧 ●キズ・摩耗 | | | | | | | | |
| | ●変形・振れ | | | | | | | | |
| ベル、ブザー | ●取付・固定 ●鳴り具合 | | | | | | | | |
| リフレクタ | ●取付・固定 ●汚れ・割れ | | | | | | | | |
| チェーンケース | ●取付・固定、タイヤ・チェーンとのスキマ | | | | | | | | |
| 補助輪 | ●取付・固定、スタンドの作動 | | | | | | | | |
| ネジ類 | ●締付のゆるみ | | | | | | | | |
| 注油箇所 | ●チェーン、ワイヤ、ブレーキレバー | | | | | | | | |
| 実施年月日 | (年 月 日) | .. | .. | .. | .. | .. | .. | .. | .. |
| 実 施 者 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |

*販売店様へ：左クランクの締付をチェックし、増し締めしてください。(初回は必ず)

お問い合わせ先

お客さま相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-72-1911
営業時間 9:00~12:00,13:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

お近くのお客さま相談窓口

北海道地区 ☎011(892)3131
ブリヂストンサイクル北日本販売株式会社
北海道支店

東北地区 ☎022(246)3120
(青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島)
ブリヂストンサイクル北日本販売株式会社
本社

北関東・新潟地区 ☎048(775)1230
(栃木・茨城・群馬・埼玉・新潟)
ブリヂストンサイクル北関東販売株式会社

関東地区 ☎03(5434)0451
(東京・千葉・神奈川・山梨・長野)
ブリヂストンサイクル東京販売株式会社

中部・北陸地区 ☎052(741)1282
(愛知・静岡・岐阜・富山・石川・福井・三重)
ブリヂストンサイクル中部販売株式会社

関西地区 ☎0722(45)1111
(大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山・鳥取・島根)
ブリヂストンサイクル関西販売株式会社

四国地区 ☎0878(68)5333
(香川・徳島・愛媛・高知)
ブリヂストンサイクル中国販売株式会社
本社

中国地区 ☎082(294)3553
(広島・岡山・山口)
ブリヂストンサイクル中国販売株式会社
広島支店

九州・沖縄地区 ☎0942(84)5110
(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄)
ブリヂストンサイクル九州販売株式会社

ブリヂストンサイクル 品質保証書

当社の取扱説明書に従って通常に使用された状態で、不具合がおこりましたときは、本保証書の記載内容により無料修理（以下保証修理という）をいたします。保証修理は部品の交換または補修によって行ない、交換した不具合部品は当社の所有となります。

| | |
|-----------|---|
| お 買 上 げ 日 | 年 月 日 |
| お客様のお名前 | |
| お客様のご住所 | TEL |
| 販売店 | <div style="text-align: right;">(印)</div> |
| 住 所 | |
| TEL | |

| | | |
|-------|--------|----|
| 商品コード | 車名(略号) | 色名 |
| | | |

1. 記載事項

この乗りの商品コード、車名、販売年月日、保証期間、販売店名、及びお客様のお名前等必要事項記載欄にお買上げ店で記入捺印することにより有効となります。なお本書は紛失されても再発行はいたしませんので大切に保管してください。

2. 保証期間

- (1) フレーム体：新車を販売した日から6ヵ月間を保証します。(但し5項に該当するものを除く)
- (2) フレーム体以外の全部品：新品時のみ

3. つぎに示すものの費用はお客様の負担となります。

- (1) 保証対象外部品（フレーム体を除く全部品）の交換・修理。
- (2) 点検調整・清掃。

4. 保証修理を受けるための条件及び手続き

- (1) 保証をお受けになる場合は、商品と本保証書をお買上げ店へお持ちいただき保証修理をお申しつけください。本保証書を提示されないときは保証修理はお受けできません。又出張修理をお申しつけの際は出張費を頂く場合がありますので事前におたしかめください。
- (2) 本保証書は使用者が字句等を書換えた場合無効となります。
- (3) ご贈答、ご転居及び他に譲渡する場合についてはお買上げ店又は裏面の相談窓口にご相談ください。
- (4) この保証書は日本国内で使用されるものに適用されます。海外に持ち出す場合はその時点で切りとなります

This warranty is valid only in Japan.

- (5) お買上げ後2ヶ月目以内、6ヶ月目以内、12ヶ月目以内、その後は1年毎に定期点検調整をお受けください。この定期点検を受ける際には商品と品質保証書をお買上げ店へご提示ください。
- (6) 保証修理に関するお問合せはお買上げ店又は相談窓口にご相談ください。

5. 保証できない事項

次に示すものに起因する故障は保証修理の対象となりません。(使用者負担)

- (1) 使用者の使用上の不注意や取扱説明書に従わない使用、取扱いによるもの。
- (2) 保守・整備の不備または間違いにより生じたもの。
- (3) 弊社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
- (4) 使用者が構造・機能を改造又は変更したため生じたもの。
- (5) 使用目的以外の酷使。
- (6) レンタサイクルなど不特定多数で 사용되는場合。
- (7) 地震、落雷、火災、水害、公害等災害、天災、地変によって生じたもの。
- (8) 手入れ不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。
- (9) 部品の通常の摩耗又は疲労と認めたもの。(タイヤ、チューブ等のゴム類など)
- (10) クギ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石コロ、空気圧不足等で生じたパンク。
- (11) 一般に機能上影響のない感覚的現象。(音、振動、油のにじみ等)
- (12) 本商品の故障に起因する付随的費用。(本商品を自転車店等に持ち込むために要した費用等)

6. この保証書は本書に明示した期間条件に基づき保証修理をお約束するものです。従って、この保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7. 保証期間経過後の修理等についてもご不明の場合はお買上げ店又は、相談窓口にご相談ください。

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

ブリヂストンサイクル株式会社

電 話 048-773-2221(代表)



ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1
お客様相談室 ☎ 0120-72-1911

IA00-264
2005, 11